

在宅医療連携拠点

「越谷市医療と介護の連携窓口」より

ACP・あんしんセットって何ですか？



越谷市医療と介護の連携窓口 野上めぐみ

Web 令和5年 9月3日(日)

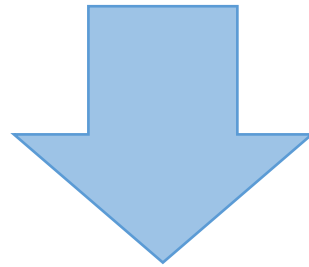
1:「越谷市医療と介護の連携窓口」って？

2:通院・入院時「あんしんセット」を準備しよう！

3:ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは・・

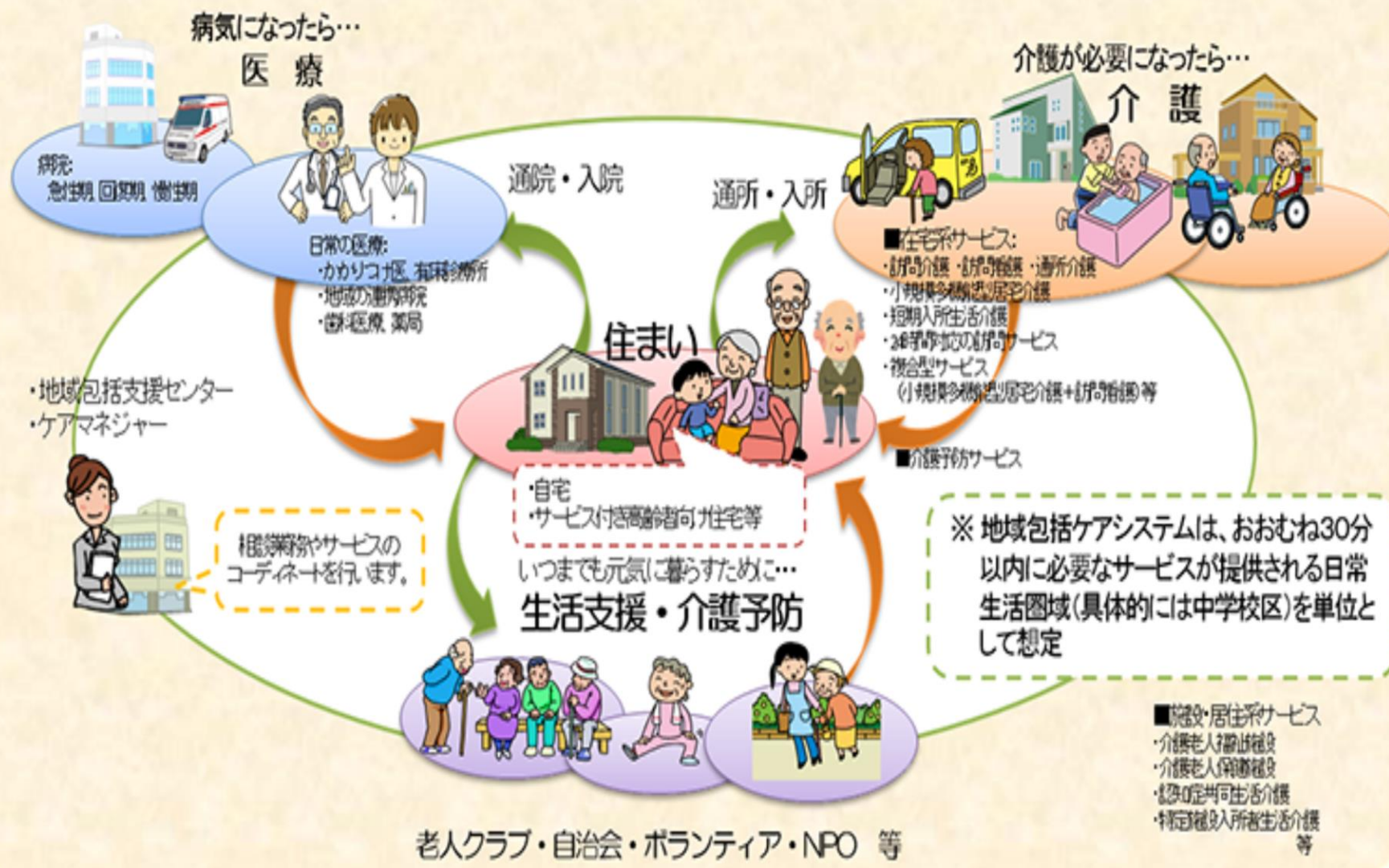
高齢社会

- 在宅医療の対象者の増加。
- 病院から地域に療養者の増加。



病院と在宅医療の両方で
サポートが必要です。

地域包括ケアシステムの姿

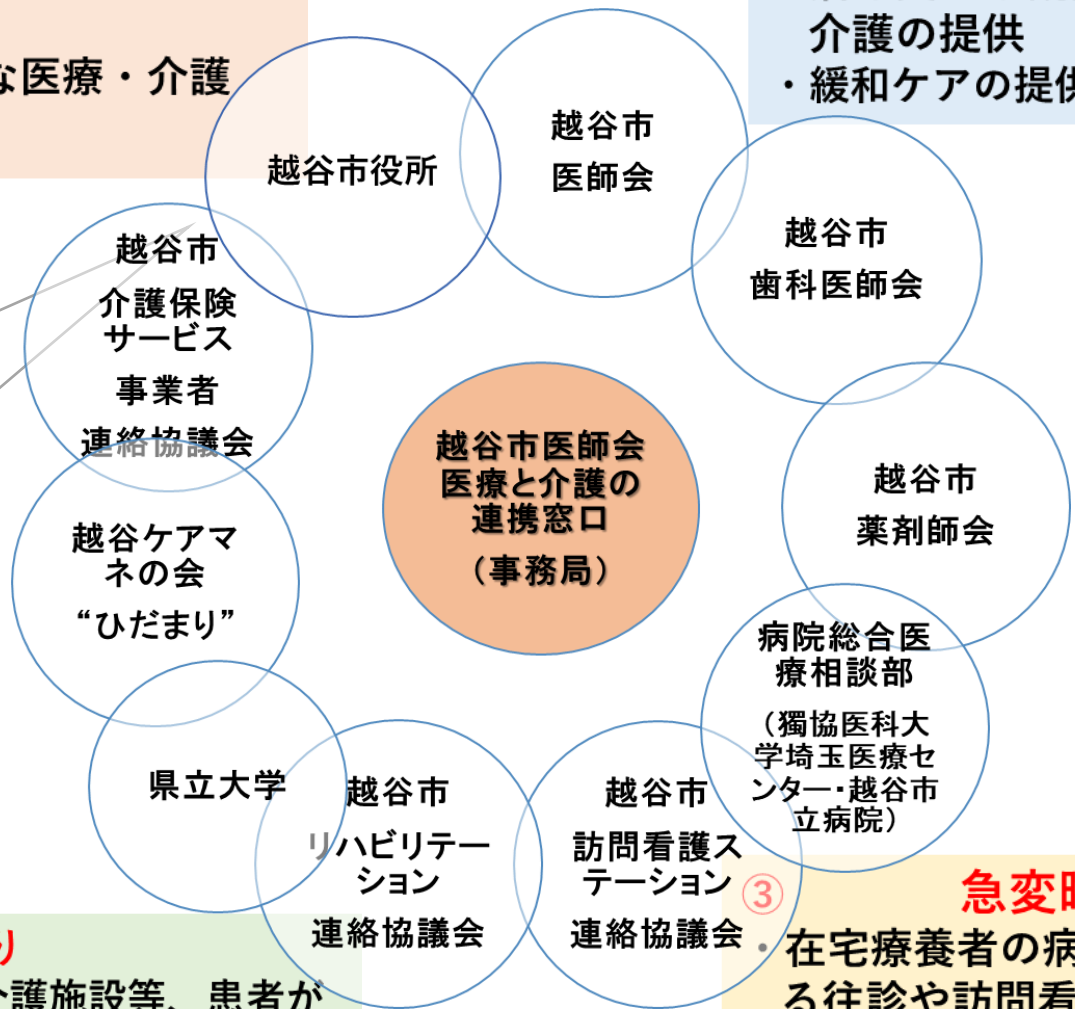


越谷市医療と介護連携の会世話人会

- ① 入退院支援**
- ・入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援
 - ・一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供

- ② 日常の療養支援**
- ・多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供
 - ・緩和ケアの提供・家族への支援

- ・地域医療課
 - ・地域包括ケア課 (地域包括支援センター)
 - ・介護保険課
 - ・地域共生推進課
 - ・救急課も
- オブザーバー的に寄り添って参加



- ④ 看取り**
- ・住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施
 - ・人生の最終段階における意思決定支援

- ③ 急変時の対応**
- ・在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確認
 - ・急変時における救急との情報共有

在宅医療連携拠点「越谷市医療と介護の連携窓口」

～多職種のコームワークが深まるよう支えます～

<主な業務内容>

- 01 医療介護福祉職・地域包括支援センター等の相談窓口
- 02 スムーズな多職種連携に向けた対応策の検討や研修会の企画・開催
- 03 情報共有・連携推進：医療介護専用SNS（MCS：メディカル・ケア・ステーション）の普及啓発
- 04 訪問診療医の在宅療養支援ベッド調整
- 05 人生の最終段階における意思決定支援の普及 等



ホームページのQRコード

A decorative border with a repeating floral pattern in a light gray color, framing the central text.

2:通院・入院時「あんしんセット」を準備しよう！

高齢者がそれまでの暮らしができなくなるよくあるきっかけ



介護が必要となった主な原因（全国）

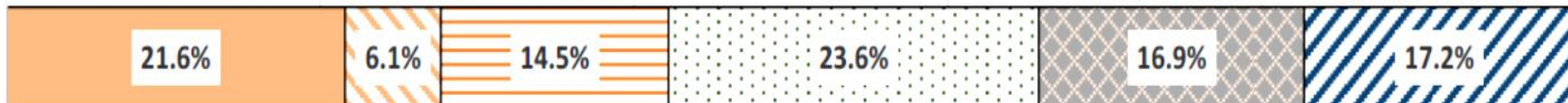
脳血管疾患（脳卒中） 心疾患（心臓病） 関節疾患

認知症

骨折・転倒

高齢による衰弱

総数



引用：第8期埼玉県高齢者支援計画 令和3年度～5年度より



通院・入院時「あんしんセット」 のご準備をお願いします

- 医療保険証
- かかりつけ医療機関の診察券
- お薬手帳
- 緊急連絡先
- ケアマネジャーの名刺
- 介護保険証・介護保険負担割合証



受診や入院時にご自身が必要な大切なものをケースなどに
入れ保管しておきましょう

どうして必要なの？

- 事前に必要なものを準備しておく、もしものとき慌てず安心です
- 患者様の情報が、医療機関やケアマネジャーに一度に伝わるとより円滑なサポートができます

もしもの時にはケアマネジャーに連絡をしましょう

越谷市では医療機関とケアマネジャーが連携し、市民の皆さまの入退院をスムーズに進めるよう取り組んでいます

問合せ：越谷市保健医療部地域医療課
電話：048-972-4777 / FAX：048-972-6244
発行：越谷市医療と介護の連携窓口(越谷市医師会内)



● 医療保険証



● かかりつけ医療機関の
診察券



● お薬手帳



● 介護保険証・
介護保険負担割合証



● 緊急連絡先を
記載したもの



● ケアマネジャーの名刺

「あんしんセット」とあわせて

「救急医療情報キット」を活用しましょう



- 記入用紙（本人情報・医療情報・緊急連絡先）
- 写真（本人が確認できるもの）
- 医療保険証（写し）
- 診察券（写し）
- その他 薬剤情報提供書（写し）
お薬手帳（写し）等

救急医療キットとは・・・

「かかりつけ医療機関」などの医療機関情報等を容器に入れ自宅に保管しておくもので、救急隊、病院が迅速に対応できるよう備えます。

※救急医療キット内の情報を**随時更新し**、
万一の時に備えましょう

問合せ

越谷市福祉部福祉総務課 電話：048-963-9320 / FAX：048-963-9174



新・医者にかかる10箇条

※医者にかかる10箇条 あなたが“いのちの主人公・からだの責任者”

1. 伝えたいことはメモして準備
2. 対話の始まりはあいさつから
3. よりよい関係づくりはあなたにも責任が
4. 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報
5. これからの見通しを聞きましょう
6. その後の変化も伝える努力を
7. 大事なことはメモをとって確認
8. 納得できないときは何度でも質問を
9. 医療にも不確実なことや限界がある
10. 治療方法を決めるのはあなたです

▶ 出典 NPO法人ささえあい医療人権センターCOML

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the central text.

3: **ACP**(アドバンス・ケア・プランニング)とは・



平成27年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書
＜進化する地域包括ケアシステムの「植木鉢」＞より

大切な人と自分のことについて話し合ったことがありますか？

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日(いい暮らし・暮取り)は人生会議の日

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

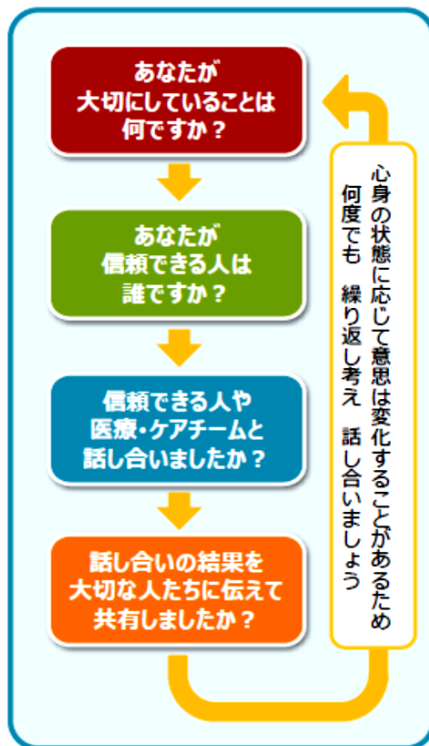
- 命の危険が迫った状態になると、
- 約70%の方が、
- 医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。
- 自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
■ 周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

話し合いの進めかた (例)



このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。

★
万が一の時に備えて、あ
なたの大切にしているこ
とや望み、どのような医
療やケアを望んでいるか
について、自分自身で考
えたり、あなたの信頼す
る人たちと話し合ったり
すること。

人生会議 = ACP

(アドバンス・ケア・プランニング)




詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



自分で意思決定できる時期に 考えましょう！

自分の人生は
最期まで自分
のものが
いい...



普段の会話から考
えていけるといい
ですね。

ACP出張講座

～ 普段の活動時間に
「ACP」について考えてみませんか？～

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは

もしもの時が迫った時、自分が望む医療やケアを受けられるために、本人、家族、医療・ケアチームと元気なうちから繰り返し話し合い、共有する取り組みの事です。

自分自身で前もって考え、周囲の信頼できる人達と話し合い、困らないよう準備しておくことが大切です。

【内容】

- ・約1時間程度 (短時間でも可能)
- ・無料で講話を行います。
- ・オンラインを利用した対応も可能です。

意思表示ノート
はどうやって書くの??



- ・ACPとは
- ・「もしもの時」において大切にしたいこと
- ・事例をもとにした寸劇
- ・もしバナゲーム
- ・かかりつけ医
- ・私の意思表示ノート
- ・ACP動画



もしバナゲームで
きっかけ作りしたいな。



【対象】

- (1) 市内に在住、在勤、在学
- (2) 営利を目的としない
(例：サロン、自治会、老人会、ボランティア等)

【申込み】

- (1) 団体名・代表者名と連絡先
- (2) 希望日時 (第2希望まで)
- (3) 会場
- (4) 参加人数
- (5) 団体の活動内容

これまで、介護体操の場や
マンションの管理組合、
自治会の集会、サロンなどに
行かせていただきました！

①電話 ②FAX ③メールのいずれかで申込みください

【申込み・問合せ】

越谷市医療と介護の連携窓口 (越谷市医師会内)

TEL : 048-910-9140

FAX : 048-910-9141

メール : renkei@koshigaya-med.or.jp

※ 皆様の要望に応じて対応します。ぜひご相談ください。

★まとめ

- 受診時には「医者にかかる10か条」を心がけ、「あんしんセット」を持参しよう！
- 自分が意思決定ができる時期に人生の最終段階について、家族や大切な人と話し合いを重ねて伝えておこう！ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

多職種連携は医療と介護だけでなく 福祉（行政）、教育とも密接に繋がっています

どこに住んでいても誰でも
ずっと**地域包括ケアシステム**の一員



「ごちゃまぜ会」も地域共生社会構築の一助